

NIPPON防災資産



OHKOUZUday2026

大河津分水見学バスツアー

大正11(1922)年8月25日の大河津分水通水を記念し、堰の操作室や令和の大改修工事現場をめぐる「操作室・工事現場見学」と夕日に染まる大河津分水を眺める「夕日とライトアップ見学」を開催しました。



期日：令和8年8月22日(土)
会場：信濃川河川事務所 大河津出張所他
参加：操作室・工事現場見学 35名
夕日とライトアップ見学 21名
主催：信濃川河川事務所



「OHKOUZUday」は通水100周年を迎えた令和4年より、大河津分水に感謝する1日として毎年開催しており、今年は初めてバスツアーを組み込みました。

●「操作室・工事現場見学」



最初にご案内したのは普段は入れない堰の操作室です。信濃川と大河津分水路に放流している流量や堰の操作方法を説明しました。



洗堰にある船の通り道「閘門」では、実際にゲートを開く様子を見ていただきました「船のエレベーターのような場所ですね」と参加者の皆さん。



初めての公開となった可動堰のゲート格納庫。メインゲートの点検時等に使用する予備ゲートを保管しています。近くで見ると大きさを体感できます



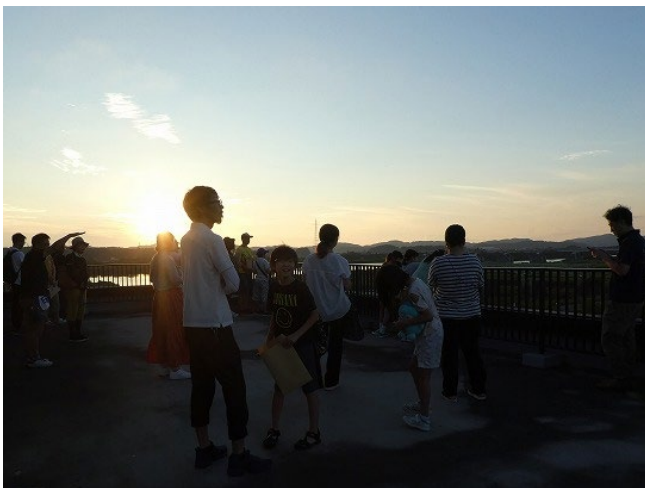
予備ゲートを使用する際は、格納庫の屋根が開きクレーン車で吊り上げて運搬します。今回は格納庫の屋根の開閉も見学いただきました。

大河津分水イベントレポート 2026



現場見学の予習として立ち寄ったとこみえ〜る館では、大河津分水路改修事業「令和の大改修」について、経緯や現在行われている工事の状況、今後の計画などを紹介しました。

●「夕日とライトアップ見学」



信濃川大河津資料館4F展望室では可動堰や洗堰の特徴、大河津分水のしくみなどを紹介しました。大河津分水に映える夕日が美しく「この時間帯ならではの景色ですね」と感想をいただきました。



最後に参加者全員でカウントダウンし洗堰をライトアップ。夕暮れの空に洗堰が浮かび上がると「おお！」と歓声が。昼夜問わず人々の生活を守り続ける大河津分水の姿を体感していただきました。



バスツアーの最後は山地部掘削、第二床固改築、野積橋架替など工事現場全体を見渡せる展望台へ。「思った以上に大工事で驚きました」との声が聞かれました。



120年ほど前に描かれた大河津分水計画平面図を特別に公開。当時の資料が遺されていること、ち密に正確に測量されていることなどに驚かれていました

来場者の声

- ・ 以前「河川モニター」をしたことがあり、当時との違いに驚きました。「令和の大改修」の名の通り、信濃川流域の住人を守る大工事なのだと実感しました。
- ・ 工事の大変さや規模の大きさが実感できました。
- ・ 掘削現場を見ることができて良かったです。
- ・ 100年前の資料を見ることが出来て良かったです。
- ・ ライトアップが綺麗でした。
- ・ 大変楽しいイベントでした。過去の資料も見せていただき知識が増えました。またこのようなイベントがあったらぜひ参加したいです。
- ・ とても勉強になりました。資料館の中をゆっくり見に来たいと思いました。